

泡消火設備試験結果報告書											
試験実施日 年 月 日											
試験実施者											
住 所											
氏 名											
用 途	()項				構 造						
延べ面積	m ²				階 数	地上	階	地階	階		
	固定式 (全域放出方式 局所放出方式)				移動式						
試 験 項 目					種別・容量等の内容				結果		
外 観 試 験	水	源	水源の種類・構造		—————						
			水 量		m ³ (縦 m横 m有効深さ m)						
			吸水障害防止措置		有 ・ 無						
			給 水 装 置		—————						
			耐 震 措 置		有 ・ 無						
	加 圧 送 水 装 置	ポンプを用いるもの	設 置 場 所								
			ポ ン プ の 仕 様	製造者名			定格吐出量		L/min		
							定格全揚程		m		
				型式			製造番号				
			電 動 機 の 仕 様	製造者名			種別		型電動機		
							定格電圧		V		
				型式			定格電流		A		
			ポンプ・電動機	製造番号			出力		kW		
				設置状況	設 置 状 況			—————			
					接 地 工 事			種接地			
					配 線			—————			
			潤 滑 油			—————					
			水温上昇防止のための逃し装置	配 管 ・ バ ル ブ 類			管の呼び		A		
オ リ フ ィ ス 等				流過口径		mm					
性能試験装置の配管・バルブ類				—————							

試 験 項 目					種 別・容 量 等 の 内 容		結果	
外 観 試 験	加 圧 用 送 水 装 置	ポ ン プ を 用 い る 起 動 装 置 の 組 置	呼 水 装 置	材 質	鋼板製・合成樹脂製			
				水 量	L			
				溢 水 用 排 水 管	管の呼び	A		
				呼 水 管	管の呼び	A		
				補 給 水 管	管の呼び	A		
				減 水 警 報 装 置	フロートスイッチ・電極			
		制 御 装 置	設 置 場 所					
			制 御 盤	――				
			予 備 品 等	――				
			接 地 工 事	種接地				
		圧力計・連成計	設 置 位 置	――				
			性 能	級				
		減 圧 措 置				有 ・ 無		
		起 動 装 置 の 組 置	起 動 用 水 圧 開 閉 装 置	直 接 操 作 部				
				起 動 用 圧 力 タ ン ク	第 2 種 圧 力 容 器・高 圧 ガ ス 圧 力 容 器			
					タ ン ク の 容 量	L		
			自 動 式 起 動 装 置	配 管 ・ バ ル ブ 類		管の呼び	A	
				閉鎖型スプリンクラーヘッド		――		
				自 動 火 災 感 知 装 置		――		
			手 動 式 起 動 装 置	設 置 場 所 等		――		
				設 置 高 さ		床面からの高さ	m	
				構 造		――		
				表 示		――		
			流 水 検 知 装 置				――	
		高 架 水 槽 を 用 い る も の	構 造					
			内 容 積 ・ 落 差		m ³	m		
			配 管 ・ バ ル ブ 類		――			
			水 位 計		――			
		圧 力 水 槽 を 用 い る も の	種 類 ・ 構 造		第 2 種 圧 力 容 器・高 圧 ガ ス 圧 力 容 器			
			内 容 積 ・ 有 効 圧 力		m ³	MPa		
			自 動 加 圧 装 置		有 ・ 無			
			配 管 ・ バ ル ブ 類		――			
			水 位 計 ・ 圧 力 計		――			
		耐 震 措 置				有 ・ 無		

試 験 項 目				種 別・容 量 等 の 内 容								結 果
外 <												

[illegible]

[illegible]

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。

2 選択肢のある欄は、該当する事項を○印で囲むこと。

3 ※印の試験は、「加圧送水装置の基準」（平成 9 年消防庁告示第 8 号）に適合している旨の表示が付されているものにあつては、省略することができる。

4 結果の欄には、良否を記入すること。

5 非常電源及び配線についての試験結果報告書を添付すること。

6 総合操作盤が設けられているものにあつては、総合操作盤についての試験結果報告書を添付すること。